

迷惑

「他人様に、ご迷惑をかけないように」

私

小さい頃、出掛けには毎日のように、母親からこう言われた記憶があります。昨今のお母さん方は、子ども達が登校する時などに、車に気を付けること、見知らぬ人に声を掛けられても、ついて行かないこと等を注意することはあっても、他人に迷惑をかけないようにと注意することはあるのでしょうか。死語になっていなければ良いのですが。

反

面、自己主張の時代ですから、他人への迷惑より、自分の思っていることは、しっかりと言いなさいと教えている方が多いかも。それは決して悪いことではありませんが、「言いたいこと」と「言わなければならぬこと」として『言わなくてもいいこと』の違いを、しっかりと教えることは必要です。それはメールやライン等の書き込みでも同じ事が言えます。

人

と人とを繋ぐツールとしての言葉は、時によって人を傷付けてしまうこともあります。今年のNHK大河ドラマ『麒麟が来る』で斎藤道三が息子に「言葉は刃ぞ」と言った台詞に、私は大きく頷きました。心無い言葉で、人を死に追いやったニュースに心が痛みます。いじめやハラスメントのほとんどが言葉です。「言いたいこと」と「言わなければならぬこと」として『言わなくてもいいこと』をしっかりと見極められるようになりたいものです。人様にご迷惑をかけないためにも。

我

が家から最寄りの駅までは十分ほどの道程です。何時も混雑している車道の両側には歩道がありますが、行き来する人が擦れ違える程度の幅の歩道です。その歩道を子ども達がおしゃべりをしながら広がり、道を塞いで登校しているのは、迷惑行為の何物でもありません。

学

校が再開して子ども達の通学が何時ものとおりました。擦れ違う子ども達の中に、マスクをしていない子ども達が結構いるのです。暑いのでしょうか。息苦しいのでしょうか。それはそれで仕方ないのですが、マスクなしで声高におしゃべりしないような心遣いも必要だと思います。コロナウイルス感染渦中にある昨今、やむを得ない場合を除き、マスクなしは時として、他人への迷惑でもありません。

さ

て、子ども達ばかりではありません。車道を自転車を通るのは危険なので、ほとんどの自転車は歩道を通ります。自転車は本来、車道を通行することになっていますが、車の往来が激しいので、自転車が歩道を走るのは無理からぬ事と思います。しかし、自転車で歩道を通行する時は、歩行者への配慮が必要です。ある朝、駅に向かって歩いていると、背後でけたたましいベルの音が響きました。驚いて歩道の隅に身を寄せると、肩を怒らせて忙しなくペダルを漕いでいる人の自転車、私の体の横を通り抜けました。その時、舌打ちしながら邪魔、邪魔と呟いているのが分かりました。私の前を歩いている人も背後からベルを鳴らして退けさせている様子を見て、清々しい朝の気分が萎んでしまいました。自転車で乗っている人は、駅に急いで行かなければ電車に間に合わず、歩行者を迷惑な存在と思ったのでしょうか、それは一方的な思いです。

私

達は知らない内に、多くの人達に迷惑をかけて生きています。それは拙い私にも十分に言えることだと思っています。インドでは、故意的なものとして「他人の迷惑には寛容になりなさい」と教えているそうです。見習いたいと我が身に言い聞かせているこの頃です。

(元青森県立北斗高校校長)